

KDDI Message Cast

入稿ポータルプランサービス仕様書

KDDI株式会社

Supership株式会社

3.3版

- ・ 当該資料に記載されている内容については、本日時点の内容となっております。今後の開発状況などにより、仕様変更、ご提供サービス内容・開始時期の変更がある場合がございますので、予めご了承ください。
- ・ 当該資料は守秘義務契約に基づく内容が含まれております。
- ・ 当該資料には、KDDI株式会社およびSupership株式会社（以下、併せて「当社」といいます。）が独自に調査・収集した情報ならびに当社が独自に考案した財産的価値がある情報を含んでおります。従って、本書および内容は貴社でご検討していただくための内部資料としてのみご利用ください。

目次

更新履歴	3
用語集	4
1. はじめに	6
1.1. 目的.....	6
1.2. 本仕様書について	6
1.3. 関連ドキュメント	6
2. サービス概要.....	7
2.1. KDDI Message Castとは	7
2.2. サービスの提供形態.....	7
2.3. 本サービスの責任範囲.....	7
2.4. 契約関係.....	8
2.5. 運用時間	9
2.6. 監視体制	9
2.7. 通知.....	9
2.8. セキュリティ基本方針.....	10
3. 提供機能	11
3.1. 提供機能概要	11
3.2. 機能一覧.....	11
3.3. SMS	11
3.4. +メッセージ	13
3.5. 誤配信防止機能（有料オプション）	17
3.6. 短縮URL機能	19
3.7. オプトアウト機能	19
3.8. 企業ユーザーアカウント.....	21
3.9. 配信ログ	22

4.	お申し込みの流れ.....	22
4.1.	ご利用の流れ.....	22
4.2.	お申し込みにおける留意事項.....	23
5.	請求.....	24
5.1.	課金単位.....	24
5.2.	課金発生のタイミング.....	25
5.3.	お支払い方法・料金精算スケジュール.....	25
5.4.	料金請求書イメージ.....	26

更新履歴

版	更新日	特記事項
1.0	2021年6月18日	初版
1.1	2021年9月9日	短縮URL機能の記載を追加
1.2	2021年10月26日	配信条件の記載を追加
2.0	2021年12月15日	+メッセージについて記載を追加
2.1	2022年3月14日	リッチカード説明文の文字数記載を変更
2.2	2022年5月30日	<ul style="list-style-type: none"> ・用語集を更新 ・サジェスチョン識別子の文字数の記載を追加 ・SMSフォールバック仕様を追加
2.3	2022年8月16日	企業ユーザーアカウントに <ul style="list-style-type: none"> ・ユーザーの削除の説明を追加 ・仮パスワードの有効期限の説明を7日間→14日間へ変更
2.4	2022年8月24日	企業ユーザーアカウントに <ul style="list-style-type: none"> ・アドレス帳の編集・削除を追加 ・サポートWEBへのアクセスを追加
2.5	2022年9月20日	配信ログの参照条件を変更
2.6	2022年10月19日	<ul style="list-style-type: none"> ・企業ユーザーアカウント仕様を変更 ・配信ログの参照条件を変更
2.7	2022年11月15日	<ul style="list-style-type: none"> ・用語集を更新 ・サブスクライブグループの仕様を追加 ・請求単位に誤配信防止機能を追加
2.8	2022年12月27日	ネットワークに説明を追加
2.9	2023年3月8日	<ul style="list-style-type: none"> ・用語集を更新 ・オプトアウト機能の仕様を追加
3.0	2024年5月28日	<ul style="list-style-type: none"> ・配信ログの参照条件を変更 ・お支払方法・請求スケジュールに指定銀行口座へ支払いを追加
3.1	2024年8月8日	・2.7 通知 4)へ各キャリア設備と携帯端末間での通信に不具合が発生した場合について追記
3.2	2024年9月3日	・2.3本サービスの責任範囲の図を変更
3.3	2025年1月29日	・3.4.1 リッチカードに設定可能な拡張子の変更

用語集

用語	定義
ご利用企業様	KDDI Message Castを利用して携帯電話利用者に情報を提供する企業。
キャリア	移動体通信事業者。携帯電話の物理的な移動体通信網を自社で保有し、加入者に直接通信サービスを提供する事業者。
+メッセージ (プラスメッセージ)	docomo、au、SoftBank の電話番号を宛先にして、文字・スタンプ・写真・動画などの送受信ができるメッセージアプリ。当社システムでは「RCS」と表示。
配信ステータス	SMSや+メッセージの配信状況および携帯電話への着信結果。
企業ユーザー	ご利用企業様にてKDDI Message Castのシステムを操作するユーザー。企業管理者、上位管理者、管理者、一般利用者の総称。
エンドユーザー	コンテンツを受信するユーザー。
ケーパビリティ判定	配信先端末に+メッセージアプリがインストールされているか判定する機能。
SMSフォールバック	配信先端末が+メッセージの受信ができない場合に、SMSに切り替えて配信する機能。
SMSアカウント	利用企業様へ提供するSMSアカウント。
公式アカウント	利用企業様へ提供する+メッセージアカウント。
コンテンツ	エンドユーザーに配信するメッセージ。
リッチカード	テキスト、メディアファイル等を配信可能とした+メッセージ。
カルーセル	リッチカードを複数組み合わせで水平スクロール表示する+メッセージ。
チップリスト	エンドユーザーが押下した際に動作するボタンをメッセージ枠外の下部に付与し、エンドユーザーが選択式でご利用企業様にメッセージを送れるボタン型メッセージ。
チップリスト識別子	本サービス以外のシステムと連携しご利用いただく際に連携先システムへ通知される値。
サジェスチョン	リッチカードおよびカルーセルのカード枠内に、エンドユーザーが選択式でご利用企業様にメッセージを送れるボタン型メッセージ。

サジェスチョン識別子	本サービス以外のシステムと連携しご利用いただく際に連携先システムへ通知される値。
サブスクライブ	公式アカウントをエンドユーザーが利用登録する操作。
オプトアウト	エンドユーザーがコンテンツの受信を拒否する操作。
オプトアウトリスト	オプトアウトしている電話番号一覧。
オプトアウトURL	本システムで発行される、エンドユーザーがオプトアウトするためのwebページ。

1. はじめに

1.1. 目的

KDDI Message Castサービス仕様書（以下、「本仕様書」という。）は、KDDI株式会社およびSupership株式会社（以下、「当社」という。）がKDDI Message Cast（以下、「本サービス」という。）のご利用企業様に対して、サービスの仕様を記述したものです。

1.2. 本仕様書について

- 本仕様書の著作権は当社に帰属します。
- 本仕様書はご利用企業様と当社との間で締結した秘密保持契約において機密情報として規定される情報の一部をなすものです。本仕様書の取り扱いは秘密保持契約の規定に従い、充分にご注意ください。
- 本仕様書は、最終更新日時点のサービス内容に基づき記載されており、サービス内容および記載内容について将来的に変更されないことを保証するものではありません。今後、キャリアからの要望および当社独自の判断等によって、新機能および制限事項の追加等のサービス内容に伴い、本仕様書の記載内容も変更されます。記載内容の変更は、本仕様書内の更新履歴に記載されます。

1.3. 関連ドキュメント

書類名	掲載内容
KDDI Message Cast サービス利用規約	本サービスのご利用にあたり遵守いただく規約を記載しています。
KDDI Message Cast サービス配信ガイドライン	本サービスにてコンテンツを配信する際に遵守いただく条件を記載しています。
KDDI Message Cast サービス仕様書	本サービスの仕様を記載しています。（本仕様書）
KDDI Message Cast サービス利用手続きガイド	本サービスのご利用にあたり、各種お手続きに関する説明を記載しています。
KDDI Message Cast入稿ポータル利用ガイド	本サービスの入稿ポータルの利用方法を記載しています。

KDDI Message Cast配信ログ参照マニュアル	本サービスの配信ログ確認方法を記載しています。
KDDI Message Cast公式アカウント利用ガイド	+メッセージ公式アカウントの概要を記載しています。 本サービスのお申込みにあたり、アカウントパラメータ申込書をご記入いただく際の参考資料です。

※以降、本仕様書では、冒頭の「KDDI Message Cast」を省略してドキュメント名を表記する場合があります。

2. サービス概要

2.1. KDDI Message Castとは

ご利用企業様が携帯電話利用者からメッセージ受信の承諾を得たうえで、宛先電話番号に対してSMSや+メッセージを配信するサービスです。

2.2. サービスの提供形態

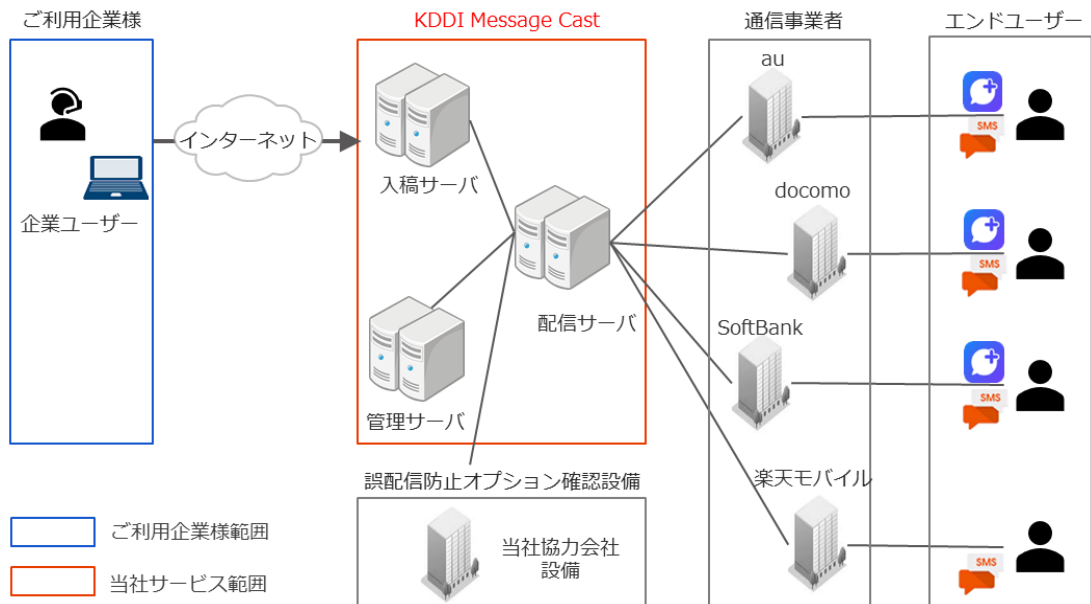
入稿ポータルプランでのご提供となります。

WEB画面上での操作により、SMSや+メッセージの配信などを行うことができます。ご利用企業様でのシステム開発は不要です。

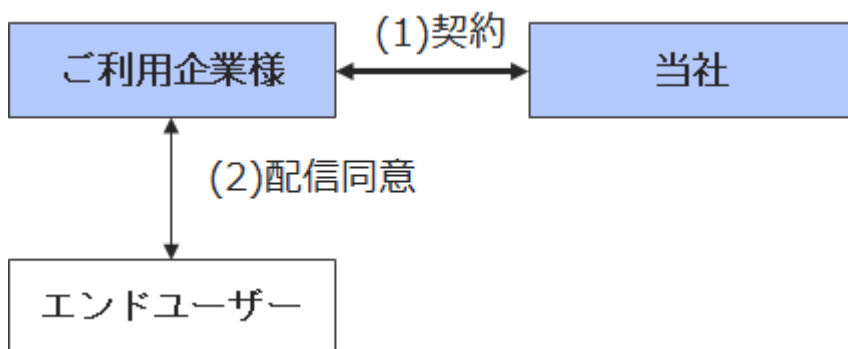
2.3. 本サービスの責任範囲

当社は本サービスの機能を適用するシステムおよび運用に対し責任を有します。

配信先の携帯電話端末や誤配信防止オプション確認設備、キャリア提供のサービス等については、責任対象外となります。



2.4. 契約関係



1. ご利用企業様—当社間

本サービスを利用する場合、ご利用企業様は「サービス利用規約」に同意する必要があります。

「サービス利用申込書」に必要事項を記入・提出し、当社が受理し、当該利用申し込みを承諾することで締結となります。

なお、代理店が介在する場合は、代理店経由で当社が申込書を受理する場合があります。

● サービス利用規約

本サービスのご利用にあたって遵守いただく提供条件を規定するものです。

- 配信ガイドライン

本サービスを利用してコンテンツを配信するにあたって遵守いただく基準を規定するものです。

- サービス契約プラン表

本サービスのご利用にあたってご契約プランや各種料金を規定するものです。

- お申込みチェックシート

本サービスのご契約にあたり、事前にご確認いただくチェックシートです。

2. ご利用企業様—エンドユーザー間

ご利用企業様は、SMSや+メッセージのコンテンツを配信するにあたって、エンドユーザーからの配信承諾を受けてご利用いただく必要があります。

2.5. 運用時間

運用時間は、24時間365日とします。ただし、システムメンテナンスや予期せぬ故障等によりサービスを停止する場合があります。（キャリア起因含む）

2.6. 監視体制

24時間365日の有人によるサービスの稼働監視および異常検知を行います。

2.7. 通知

1. システム障害、キャリア回線障害、インターネット回線障害等により、システムの一部または全部を利用できない場合があります。発生した障害により本サービスの利用に影響があると当社が判断した場合、障害発生後1時間以内を目標として通知させていただきます。

※キャリア起因障害の場合は、キャリアから当社への通知タイミングにより、障害通知が遅れる可能性があります。

2. 1で当社システム起因において、障害発生後2時間以内を目標として復旧対応を行います。

ただし、誤配信防止オプションが起因の不具合の場合は、平日日勤帯（9時-18時）での復旧対応となります。

3. システム利用に影響があると予測されるシステムメンテナンス情報は、実行日の7日前迄に通知させていただきます。ただし、当社が緊急と判断した場合のメンテナンス時や、当社以外の事由によるメンテナンスの場合は、通知が遅れる可能性があります。

4. 各キャリア設備と携帯端末間での通信に不具合が発生した場合、本サービスから配信されるSMS及び+メッセージに影響する可能性があります。

この場合、障害通知は行われず各キャリアHP上での情報公開となっておりますため詳細はそちらをご確認ください。

【au】 https://www.au.com/information/notice_mobile/network/

【Docomo】 <https://www.docomo.ne.jp/info/network/>

【Softbank】 <https://www.softbank.jp/mobile/info/personal/important/>

【Rakuten Mobile】 <https://plaza.rakuten.co.jp/rmobileinfo/>

2.8. セキュリティ基本方針

1. サーバーおよびデータセンター等

Amazon Web Services（AWS）を利用しております。

2. ネットワーク

PCからのアクセスにおける以下ブラウザの最新版のみサポート対象となります。サポート範囲内での利用をお願いいたします。

【PC】 GoogleChrome、Safari、Microsoft Edge、Firefox

3. アプリケーション

定期的な脆弱性診断を行い、脆弱性が発見された場合、迅速に対応を行っております。

3. 提供機能

3.1. 提供機能概要

ご利用企業様よりインターネットを經由して、SMSの配信要求等を受け付け、各キャリアとのSMSの送受信を行う機能を提供します。

3.2. 機能一覧

3.2.1. 入稿ポータル

機能名	概要
配信	個別および一括のメッセージ配信 配信メッセージ情報および結果の表示
予約配信	メッセージ配信時刻の予約設定
キャリア別配信	指定したキャリア宛のみにメッセージ配信
配信ログ	配信結果の確認、ダウンロード
ユーザー	ユーザーアカウント（上位管理者、管理者、一般利用者）の登録、変更
連続配信	1通目受信後に2通目を配信する機能
自動返信	エンドユーザーから応答があった場合に2通目を配信する機能
サブスクライブグループ取得	公式アカウントをサブスクライブした携帯電話番号の取得機能
オプトアウト機能	・オプトアウトURL発行、オプトアウトリストへの追加、削除C SVダウンロード機能 ・オプトアウトリストへ登録された電話番号への配信可否選択機能

※利用機能はユーザー権限により異なります。詳細は[3.7.1 ユーザーアカウント種別](#)をご確認ください。

3.3. SMS

3.3.1. SMS仕様

メッセージ種別	最大容量
全キャリア共通	660文字（全角半角問わず）

※携帯端末の種類によっては正常に表示できない、または利用できないものがあります。

※各キャリアで対応する文字コードの違いにより、日本語以外の文字については、文字化けする場合があります

3.3.2. キャリア判定

1. 携帯キャリアを指定しない場合、本システム側で携帯キャリアを自動的に判別します。
2. 本システム側で携帯キャリアを自動的に判別してSMSを配信した結果、実際の携帯キャリアと異なっていた場合、docomo、au、SoftBank、楽天モバイル回線のうち、携帯キャリア誤りと判定されていない別の携帯キャリアへSMSを配信します。再度携帯キャリア誤りとなった場合は、残りの携帯キャリアにSMSを配信します。
3. メッセージの配信ログには、最終的に配信した携帯キャリアのみが表示されます。
4. キャリアまたは外部サービスの影響により、判定エラーが発生する可能性があります。

3.3.3. 再送処理

本サービス側での再送処理は行っておりません。ただし、配信先がdocomo端末※で、圏外や電源OFFなどの状態にありSMSを受信できない場合、キャリア側で1時間メッセージを保持し、配信先端末が受信可となった場合に再度配信を行っております。

※docomo端末およびdocomo回線利用MVNO端末

3.3.4. 配信条件

1. 利用者の携帯端末の利用状況、移動体通信網の状況等により、SMSを配信できない場合があります。
2. キャリアによる遅延の可能性があるため、一通ごとの到達時間については保証できません。
3. SMS配信スペックは4万通/時です。

設備輻輳回避のため1万通/時を超えるSMSを配信する場合は事前にKDDI Message Cast お客様窓口 (kmc-support@kddi.com) までご連絡ください。

4. auキャリア設備側の仕様により、auキャリア向け配信時（全キャリア一斉配信時のau向けを含む）、同一携帯電話番号宛に連続してSMSを配信する場合は、1通目が到達してから22秒以上間隔を空けて配信を行ってください。
5. 配信ステータスは各キャリア設備側からの通知内容に基づき表示するため、本サービスで100%保証するものではありません。

3.4. +メッセージ

3.4.1. +メッセージ仕様

メッセージ種別	概要・条件
テキスト	<p>テキストでメッセージを配信します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本文：2,730文字まで
リッチカード	<p>メディアファイルを設定し、タイトルと説明文、サジェスチョンを組み合わせたカード型のメッセージを配信します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ メディア： <p>画像と動画（gif, jpg, png, mp4）を最大5Mbyteまで指定できます。</p> ・ タイトル： <p>全角半角問わず200文字（400byte）まで指定できます。変数を指定することも可能です。</p> ・ 説明文： <p>全角半角問わず500文字（1000byte）まで指定できます。変数を指定することも可能です。</p> ・ サジェスチョン： <p>4個まで指定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 識別子：全角半角問わず40文字まで指定できます。 ・ メディアの高さ： <p>低、中、高を指定できます。</p> ・ チップリスト： <p>10個まで指定できます。</p> <p>※携帯端末の種類により最大文字数が表示されない場合がありますので、事前に表示可能か検証のうえ配信をお願いします。</p>
カルーセル	<p>複数のリッチカードを組み合わせ、一通のメッセージとして配信できます。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・ リッチカード数：10個まで指定できます。 ・ チップリスト：10個まで指定できます。 <p>※携帯端末の種類により最大文字数が表示されない場合がありますので、事前に表示可能か検証のうえ配信をお願いします。</p> <p>※カラーセルで指定されるメディアのサイズは中で固定されます。</p>
サジェスション	<p>リッチカード内にエンドユーザーがクリックするボタンを配信します。設定可能な上限は4個までです。</p> <p>エンドユーザーがクリックした際の動作で設定できる内容は以下の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ URL：URLにリダイレクトします。 ・ TEL：指定した電話番号へエンドユーザーが電話します。 ・ 返信：指定したメッセージを配信します。 <p>エンドユーザーがボタンを押下した後に2通目を配信する有効期限が設定できます。有効期限が未設定の場合は無制限となります。</p>
チップリスト	<p>テキストまたはリッチカード、カラーセルの下に挿入し、エンドユーザーがクリックするボタンを配信します。設定可能な上限は10個までです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ URL：URLにリダイレクトします。 ・ TEL：指定した電話番号へエンドユーザーが電話します。 ・ 返信：指定したメッセージを配信します。 <p>エンドユーザーがボタンを押下した後に2通目を配信する有効期限が設定できます。有効期限が未設定の場合は無制限となります。</p>

※携帯端末の種類によっては正常に表示できない、または利用できないものがあります。

※各キャリアで対応する文字コードの違いにより、日本語以外の文字については文字化けする場合があります。

3.4.2. キャリア判定

1. 携帯キャリアを指定しない場合、本システム側で携帯キャリアを自動的に判別します。
2. 本システム側で携帯キャリアを自動的に判別して配信した結果、実際の携帯キャリアと異なっていた場合、docomo、au、SoftBank回線のうち、携帯キャリア誤りと判定されていない別の携帯キャリアへ+メッセージを配信します。再度携帯キャリア誤りとなった場合は、残りの携帯キャリアに+メッセージを配信します。

3. メッセージの配信ログには、最終的に配信した携帯キャリアのみが表示されます。
4. キャリアまたは外部サービスの影響により、判定エラーが発生する可能性があります。

3.4.3. ケーパビリティ判定

配信先端末に+メッセージアプリがインストールされているか判定する機能です。インストールがされていない場合はSMSフォールバックされます。

3.4.4. SMSフォールバック仕様

+メッセージの受信が可能な端末には+メッセージを配信し、受信不可の端末にはSMSに切り替えて配信する機能です。

- 配信先端末に+メッセージアプリがインストールされていない場合は、ケーパビリティ判定後にSMSへ切り替えて配信します。
- +メッセージの受信が可能な端末と判定され、本システムから配信したものの一定の条件下で配信先端末に到達しないことがあります。この場合、+メッセージ配信から10分経過後に該当電話番号へSMSに切り替えて配信します。
 - +メッセージアプリがアンインストールされた場合
 - +メッセージアプリインストール後の初期設定をされていない場合
 - MVNO端末に切り替えた場合

3.4.5. 再送仕様

配信先端末が圏外や電源OFFなどの状態にあり、+メッセージを受信できない場合、システム側で72時間メッセージを保持し、配信先端末が+メッセージ受信可となった場合に再度配信を行っております。メッセージ保持時間の72時間を経過すると、システム側よりキャリア設備側へメッセージ破棄依頼を行い、エンドユーザーの端末には届かない仕様となります。メッセージが破棄された場合は、配信ログのステータスに期限切れと出力され、ご確認いただけます。

※注意事項

本サービスでは72時間を経過すると、システム側よりキャリア設備側へメッセージの破棄依頼を行う設定としておりますが、各キャリアより+メッセージアプリの不具合で72時間を過ぎても到達しなかったメッセージが破棄されない事象が発生している旨の報告がありました。

【事象】

72時間を経過しても、キャリア設備の保存期間である14日間、エンドユーザーの端末にメッセージが届いてしまう。

【対処】

以下のアプリにバージョンアップすることにより、事象が解消されます。

- ・ docomo 【iOS】 3.0.26以降 【Android】 54.40.1500以降
- ・ au 【iOS】 3.0.26以降 【Android】 3.1.4以降
- ・ SoftBank 【iOS】 3.0.26以降 【Android】 12.0.24以降

3.4.6. 配信条件

1. 利用者の携帯端末の利用状況、移動体通信網の状況等により、+メッセージを配信できない場合があります。
2. キャリアによる再送・遅延の可能性があるため、一通ごとの到達時間については保証できません。
3. +メッセージのみの配信およびSMSフォールバックを利用し配信する際のスペックは4万通/時です。配信スペックを超えた入力がある場合は、本システム側で制御を行い、全てのメッセージ配信が完了するまで順次配信となります。

設備輻輳回避のため1万通/時を超える+メッセージを配信する場合は事前にKDDI Message Cast お客様窓口 (kmc-support@kddi.com) までご連絡ください。

※+メッセージでエンドユーザーへ配信されるかはエンドユーザーの利用端末に依存します。現在+メッセージを利用しているユーザーは全携帯端末の内約20%です。そのため、4万件の電話番号に対して1通の+メッセージを配信した場合、約8千件の電話番号に対し+メッセージが配信されます。

4. SMSフォールバックを利用し配信後、ケーパビリティ判定の結果、+メッセージ受信可能な端末であってもキャリア設備側で容量超過となった場合は、SMSフォールバックされSMSの受信となる可能性があります。
5. 配信ステータスは各キャリア設備側からの通知内容に基づき表示するため、本サービスで100%保証するものではありません。

3.4.7. サブスクライブグループ

+メッセージの公式アカウントを利用登録している携帯端末の電話番号を取得し、グループ一覧に登録する機能になります。登録したグループはCSVダウンロードすることが可能です。

- ・登録したグループの宛先数が25万件以下の場合：

案件登録して配信登録することが可能

- ・登録したグループの宛先数が25万件を超える場合：

案件登録して配信登録することが不可

※アカウントパラメータ申込書のallowSubscribers（アカウントの利用登録許可設定）を「許可する」に設定しているご利用企業様のみ本機能を利用可能です。

3.5. 誤配信防止機能（有料オプション）

配信先の電話番号を他人が利用している可能性を事前に確認し、異なるユーザーへのメッセージ配信を防止する機能です。

携帯電話の解約、新規で別の利用者が利用となった場合、平均3か月の無効期間をおいて別ユーザーに変更されます。その無効期間をデータベース上で管理、照会することで、他人が利用している可能性を判定します。

3.5.1. 誤配信防止機能仕様

1. ご利用企業様が指定した日付（基準日）から配信までの期間で、配信先の電話番号を他人が利用している可能性を確認できます。
2. 変更履歴があった携帯電話番号の事前確認ができ、他人が利用している可能性があるると判定された場合にはメッセージ配信を行いません。
3. 電話番号の他人可能性判定は、下記3つの区分で判定されます。

- a) 履歴なし：データベース上最新月から基準日までの期間に無効が3か月連続で存在しない場合
- b) 履歴あり：データベース上最新月から基準日までの期間に無効が3か月連続で存在した場合
- c) DB照会エラー：データベースからデータ取得不可
 ※履歴なしの場合にメッセージ配信し、履歴あり・DB照会エラーの場合はメッセージ配信を行いません。

【誤配信防止機能利用イメージ】



【判定パターンの例】

電話番号										基準日
	1か月前	2か月前	3か月前	4か月前	5か月前	……	23か月前	24か月前	フラグ	
090-XXXX-0000	有効	有効	有効	有効	有効	……	有効	有効	①履歴なし	
090-XXXX-0001	有効	有効	有効	無効	無効	……	無効	有効	②履歴あり	
090-XXXX-0002	無効	無効	無効	有効	有効	……	有効	有効	②履歴あり	
090-XXXX-0003	不明	不明	不明	不明	不明	……	不明	不明	③DB照会エラー	

3.5.2. 利用条件

1. 本機能で履歴確認が可能な期間は、現在から過去2年間までとなります。2年前以前の日付を指定した場合は、2年前までの期間内で判定が行われます。
2. 協会社サーバーの状況等により、判定ができない場合があります。その場合はメッセージ配信を行いません。
3. 本機能を利用しメッセージ配信を行った場合、協会社サーバーの応答遅延およびキャリアによる再送・遅延の可能性があるため、一通ごとの到達時間については保証できません。

4. データベースが月次更新となるため、本機能を利用した判定結果は100%保証するものではありません。
5. 端末譲渡による他人利用可能性判定は不可となります。
6. 協力会社サーバーのデータは、毎月月初めから約5営業日後に更新します。

3.6. 短縮URL機能

エンドユーザーへ配信するメッセージにご利用企業様指定の有効なURLをシステム側で短縮し、挿入する機能です。

3.6.1. 短縮URL機能仕様

1. SMS本文、SMSフォールバックの本文、+メッセージのテキストメッセージ本文でご利用いただけます。
2. 1つのメッセージに設定可能な短縮URLの上限は5個です。
3. 短縮URLへ指定するURLの文字数上限はありませんが100文字程度を推奨します。
4. 短縮URLはシステム側でユニークに生成し、短縮URLの前後へ半角スペースを必ず含み25文字になります。
5. SMSおよびSMSフォールバック配信時はエンドユーザーが短縮URLをクリックした初回の日時を配信ログへ出力します。
+メッセージ配信時は、メッセージ開封がされた日時が配信ログに出力されます。
6. 短縮URL設定時に変数機能を利用することで、電話番号ごとにURLを出し分けすることができます。

3.7. オプトアウト機能

エンドユーザーがオプトアウトするためのwebページ（オプトアウトURL）をメッセージに挿入できる機能です。オプトアウトURLを発行し、メッセージ本文へ挿入します。エンドユーザーがオプトアウトURLからwebページにてオプトアウトを実行した場合、オプトアウトリストへ携帯電話番号が登録されます。

登録された電話番号は、メッセージ配信時に配信可否を制御することができます。

登録された電話番号は、オプトアウトリストで閲覧・追加・削除・csvダウンロードが可能です。

※本機能は利用申込をいただいたご利用企業様のみご利用可能となります。

3.7.1. オプトアウトURLの仕様

1. オプトアウトURLはシステム側でユニークに生成し、オプトアウトURLの後へ半角スペースを必ず含み25文字になります。
2. オプトアウトURLの有効期限は60日になります。

3.7.2. オプトアウトリストの仕様

1. オプトアウトリストはご利用されるアカウント単位での管理及び制御となります。一つのアカウントに対し、複数のオプトアウトリストはご利用いただけません。
2. 一つのアカウントに対し、オプトアウトリストの登録上限数は1万件です。上限数を超えてご利用されたい場合はKDDI Message Cast お客様窓口（kmc-support@kddi.com）までご連絡ください。

3.7.3. オプトアウトリストに対する配信可否制御の仕様

「オプトアウトリストに対して配信しない」を選択し案件登録した場合、「即時配信」と「予約配信」でオプトアウトの電話番号を除外する仕様が異なります。

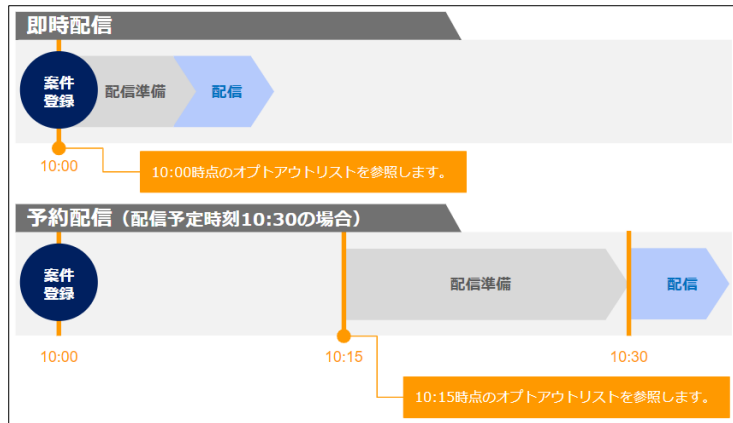
1. 即時配信

「案件を登録した時点」のオプトアウトリストを参照して、電話番号を除外します。

2. 予約配信

「配信予定時刻の15分前」にオプトアウトリストを参照して、電話番号を除外します。

※案件登録から配信予定時刻までの間隔が15分以内の予約配信となる場合は、「案件登録をした時点」のオプトアウトリストを参照して、電話番号を除外します。



3.8. 企業ユーザーアカウント

3.8.1. 企業ユーザーアカウント種別

名称	説明			
企業管理者	企業ユーザーの管理含め、入稿ポータル全機能を利用可能。			
上位管理者	配信に関する機能および配信レポートを利用可能。			
管理者	配信に関する機能を利用可能。			
一般利用者	配信はできず、下書き作成のみ可能。			
権限	企業管理者	上位管理者	管理者	一般利用者
入稿ポータルログイン	○	○	○	○
案件閲覧	○	○	○	○
案件登録・配信	○	○	○	×
案件下書き登録	○	○	○	○
レポート閲覧・取得	○	○	×	×
アドレス帳閲覧・取得	○	○	○	○
アドレス帳登録・編集・削除	○	○	○	×
オプトアウトリスト閲覧・取得・登録・削除	○	○	×	×
企業ユーザー登録・編集・削除	○	×	×	×
サポートWEBへのアクセス	○	○	○	○

3.8.2. 企業ユーザーアカウント仕様

1. ログインに必要なログインIDおよび仮パスワードは「アカウント発行」をメールでお知らせします。

2. 初回ログインの際は仮パスワードから任意のパスワードへ変更する必要があります。
3. 仮パスワードの有効期間は14日間です。
4. 企業管理者は入稿ポータルからユーザーの追加、編集、削除が可能です。
5. 仮パスワードの有効期間が超過した場合は発行者（KDDI Message Castお客様窓口または企業管理者）へパスワードリセットをご依頼ください。
6. パスワードリセット後は「再設定依頼メール」が届きます。
7. 「再設定依頼メール」に記載の「認証コード」の有効期間は1時間です。
8. 5回連続でパスワードを間違えるとアカウントがロックされ、30分後に解除されます。
9. 削除したユーザーを再度登録する場合はKDDI Message Castお客様窓口へご依頼ください

3.9. 配信ログ

3.9.1. 照会条件

本システムからエンドユーザーへ配信したメッセージとエンドユーザーから本システムへ受信したメッセージは検索した日から最大3か月前まで取得可能です。

4. お申し込みの流れ

4.1. ご利用の流れ

本サービスの提供にあたって、ご利用企業様と当社の間で、当社指定の書式によりやり取りされる各種お申し込みの概要は下表の通りです。

タイミング	種別	概要
契約前	守秘義務契約書	本サービスの技術仕様を含む各種ドキュメントのご契約前の開示等について、ご利用企業様と当社間での情報の取扱いに関して合意をいただくために必要な契約書です。 ※サービス利用申込書をご提出いただく場合は、守秘義務契約は不要です。

契約時	サービス利用申込書	本サービスを利用するための申込書です。
	アカウントパラメータ申込書	公式アカウントの名称やアイコン画像等の設定情報、SMS送信元表示番号を設定するための申込書です。 ※本申込書に沿って、当社にてアカウントを発行します。 ※サービス利用申込書内の別シートにあります。
	お申し込みチェックシート	本サービスをご契約いただくにあたり、事前にご確認いただくチェックシートです。 ※サービス利用申込書内の別シートにあります。
	サービス契約プラン表	本サービスをご利用いただく際の料金プランが記載されている書面となります。同意のうえ、契約法人名を記載しご提出いただきます。 ※サービス利用申込書内の別シートにあります。
利用開始前	アカウント通知書	本サービスを利用するためのユーザーアカウント情報を記載した通知書です。
	公式アカウントストア公開前チェックシート	当社より公式アカウントストア非表示状態にて提供し、ストア表示する際にご提出いただく資料です。リリース前のチェック項目としてご確認の上、ご提出ください。
利用開始後	サービス利用変更申込書	企業情報・担当者情報・請求者情報など契約情報を変更する際にご提出いただく申込書です。
	アカウントパラメータ変更申込書	設定内容を変更する際にご提出いただく申込書です。

4.2. お申し込みにおける留意事項

1. 「アカウント通知書」を当社より発行した日をサービス利用開始とし、当該アカウントを利用した配信はサービス利用開始後より、配信費用が発生します。
2. お申し込み内容に不備があった場合は、当社より確認を依頼させていただきます。確認に時間を要した場合、開通納期に遅延が生じる場合があります。

5. 請求

5.1. 課金単位

5.1.1. SMS

エンドユーザーへ到達した通数を課金単位としてご請求します。

71文字以上ご利用される場合は文字数に応じて分割して課金を行います。課金通数は以下の通りです。

docomo		au/楽天モバイル		SoftBank	
課金通数	送信文字数	課金通数	送信文字数	課金通数	送信文字数
1通	1~70	1通	1~70	1通	1~660
2通	71~132	2通	71~134		
3通	133~198	3通	135~201		
4通	199~264	4通	202~268		
5通	265~330	5通	269~335		
6通	331~396	6通	336~402		
7通	397~462	7通	403~469		
8通	463~528	8通	470~536		
9通	529~594	9通	537~603		
10通	595~660	10通	604~660		

5.1.2. +メッセージ

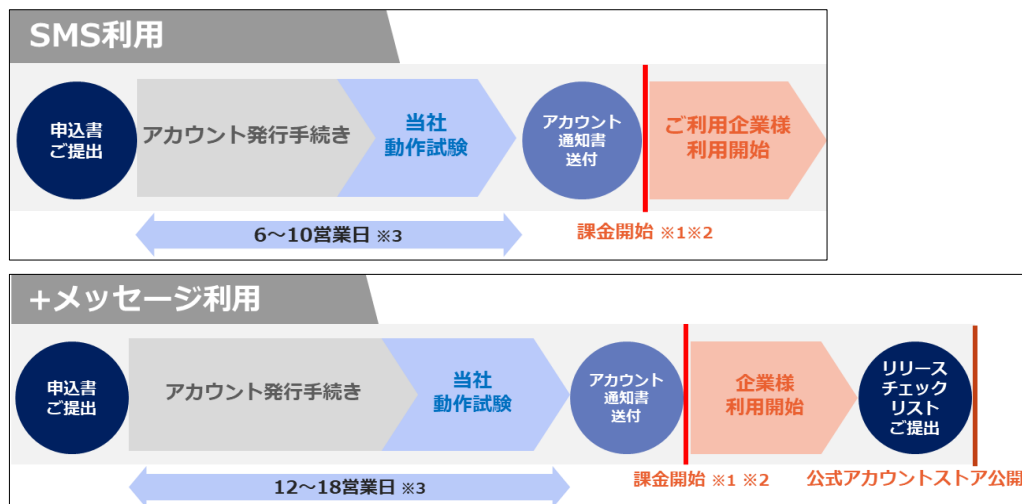
- ・ 月次の請求対象の範囲は、配信を行った日時を起点とし、配信後から3日以内（72時間以内）にエンドユーザーへ到達した通数を課金単位としてご請求します。
- ・ SMSと異なり、文字数に関わらず通数での課金となります。

5.1.3. 誤配信防止機能

- ・ 誤配信防止機能で他人可能性判定を実施し、本人判定、他人判定されたものが課金対象となります。
- ・ 配信を実施しない場合でも課金となりますが、判定でDB照会エラーとなった場合は、課金されません。

5.2. 課金発生のタイミング

アカウント通知書送付日より課金発生となります。申込書ご提出からアカウント通知書送付までの日数差により課金発生のタイミングが異なります。



※1アカウント開通時の当社動作試験の配信料は非課金となり、配信ログではなく当社で毎月カウントし算出します。

※2月途中利用開始、月途中解約の際には、当該暦月に係る本サービスの月額利用料の全額が請求となります。

※3お申し込み時に不備がない前提となっております。

5.3. お支払い方法・料金精算スケジュール

5.3.1. お支払方法

以下より選択いただけます。

- ・ 払込票で支払い
- ・ 口座振替
- ・ 指定銀行口座へ支払い
- ・ クレジット支払い

5.3.2. 請求スケジュール

お支払い方法により異なります。

- ・ 払込票で支払いおよび指定銀行口座へ支払い

請求対象期間	請求先月利用の到達分
請求書発送日	20日～22日頃 ※郵送の関係上、到着日が遅れる場合があります。
支払期日	請求翌月10日 ※10日が土日祝日の場合、翌営業日が支払い期日となります

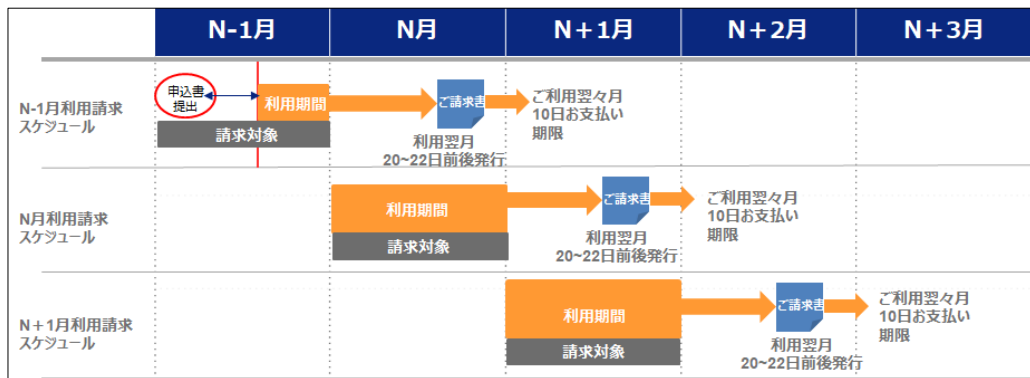
● 口座振替

請求対象期間	請求先月利用の到達分
請求書発送日	20日～22日頃 ※郵送の関係上、到着日が遅れる場合があります。
口座振替日	請求翌月10日 ※10日が土日祝日の場合、翌営業日が支払い期日となります。

● クレジット支払い

請求対象期間	請求先月利用の到達分
請求書発送日	20日～22日頃 ※郵送の関係上、到着日が遅れる場合があります。
支払期日	各クレジット会社の振替日に準じます。

【イメージ】お支払い期限は払込票で支払い・口座振替の例で記載しています



※代理店が介在する場合は、代理店が提示する内容に準ずるお支払方法やスケジュールとなる場合があります。

5.4. 料金請求書イメージ

ご利用料金の請求書イメージは以下の通りです。

●ソリューションサービス料金		●合計 379,500円	
ご利用項目	金額 (円)	内訳 (円)	備考
ご利用番号 XXXXXXXXXX	379,500		
< 3月ご利用内訳 >		ソリューションサービス	
▼MessageCast / 基本使用料	100,000		
▼MessageCast / 配信料	125,000		
▼MessageCast / API利用料	50,000		
▼MessageCast / 各種オプション料	20,000		
▼MessageCast / 契約手数料	50,000		
▼消費税	34,500		
		●総合計 379,500円	

※代理店が介在する場合、代理店が提示する内容に準ずる請求書となる場合があります。